

ご存知ですか？ 医薬品副作用被害救済制度 ～医薬品副作用被害救済制度30周年記念事業シンポジウム～

【日時】 平成22年12月6日(月) 13:00～17:00
【場所】 全社協・灘尾ホール(300名)
【入場料】 無料 *事前の登録は必要ありません

◆医薬品副作用被害救済制度とは(概要説明)

13:10～13:20

◆講演

【パート1】 13:20～14:20

「いかに救済制度は作られたか」

健康被害者の経験談、制度発足までの経緯等の講演

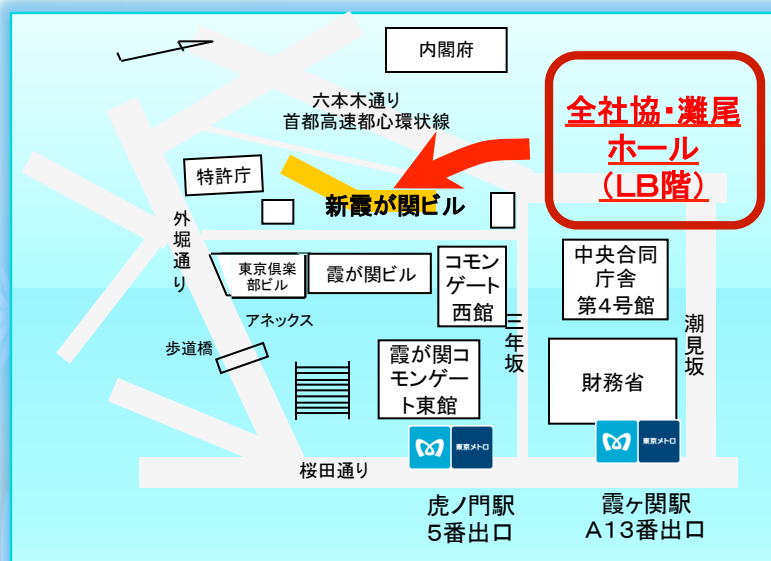
【パート2】 14:30～16:55(途中休憩あり)

「救済制度のいま」(現状と課題)

救済制度利用者の経験談、救済制度の現状の講演

ディスカッション

～制度をもっと知っていただくには～



〈会場へのアクセス〉

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号
新霞が関ビル LB階

・地下鉄銀座線
「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分

・地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線
「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

*駐車場はございませんので、お越しの際には、公共の交通機関をご利用ください。

詳しくはPMDA(医薬品医療機器総合機構) ホームページでご確認ください。

<http://www.pmda.go.jp/>

【問い合わせ先】 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 健康被害救済部

(電話) 03-3506-9460

主催：独立行政法人医薬品医療機器総合機構

後援：厚生労働省(予定)

プログラム

○PMDA 理事長、厚生労働省関係者あいさつ

13:10～13:20

○医薬品副作用被害救済制度とは（概要説明）
◇PMDA関係者

パート1「いかに救済制度は作られたか」

13:20～14:00

○スモン患者及びサリドマイド患者の立場から
◇高橋 豊栄氏（スモンの会全国連絡協議会議長）
◇増山 ゆかり氏（財団法人いしずえ前常務理事）

14:00～14:20

○救済制度創設に関わった有識者
◇大田 晋 氏（川崎医療福祉大学教授）

パート2「救済制度のいま」（現状と課題）

14:30～15:00

○制度利用者の立場から
◇患者ご本人
◇利用者の家族

15:15～15:45

○PMDA救済業務委員会委員の立場から
◇溝口 秀昭 氏（東京女子医科大学名誉教授）

15:55～16:55

○「制度をもっと知っていただくには」（ディスカッション）
【メンバー】

◇溝口 秀昭 氏（東京女子医科大学名誉教授）【進行役】
◇木津 純子 氏（慶應義塾大学薬学部教授）
◇沖村 一徳 氏（日本製薬団体連合会救済制度委員会委員長）
◇山本 信夫 氏（社団法人日本薬剤師会副会長）
◇湯浅 和恵 氏（スティーブンス・ジョンソン症候群患者会代表）
◇栗原 敦 氏（全国薬害被害者団体連絡協議会世話人）

○閉会のあいさつ